

第2回

TOKAI スタートアップセミナー

地域金融機関に求められるスタートアップ支援

主催：東海財務局、名古屋市、名古屋大学（学術研究・産学官連携推進本部）、中部経済連合会

2022年

5月25日 水 14:00-16:15

対象：東海4県（愛知、岐阜、静岡、三重）の地域金融機関

オンライン（Zoom）と対面（定員20名）のハイブリッド形式で開催

対面会場：ナゴヤイノベーションズガレージ 名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク4F

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、完全オンラインとなる可能性があります。

ファシリテーター 美保 美恵（中部経済連合会）

開会挨拶（名古屋市経済局長 西野 輝一、名古屋大学副総長 佐宗 章弘）

第一部

14:00～15:10 講演

「地方に眠る将来性ある技術の活用」

秦 由佳氏（㈱産業革新投資機構）

「なぜ浜松いわた信用金庫がスタートアップを支援しているのか」

渡邊 迅人氏（浜松いわた信用金庫）

「Tongaliのスタートアップ支援」

小西 由樹子（名古屋大学）

「起業支援活動に参加して（金融マンの目線から）」

小田 一郎（名古屋大学）

「地域の連携によるスタートアップ支援」

鷺見 敏雄（名古屋市）

Martin Roberts氏（㈱LOZI）

第二部

15:15～16:15 トークセッション

「スタートアップ・エコシステムにおける地域金融機関の役割」

モデレーター兼パネリスト
パネリスト

小西 由樹子（名古屋大学）

秦 由佳氏（㈱産業革新投資機構）

Martin Roberts氏（㈱LOZI）

鷺見 敏雄（名古屋市）

齋藤 通雄（東海財務局）

閉会挨拶（東海財務局長 齋藤 通雄）

※セミナー終了後に、名刺交換会を予定しております。

お申込みは
Emailで
5月20日(金) 〆切

✉ seminar1@tk.lfb-mof.go.jp
東海財務局総務部総務課企画係 担当 水谷、上、伊藤
お問い合わせ ☎ 052-951-1814

登壇者プロフィール

秦 由佳氏

(株式会社産業革新投資機構 ファンド投資室長)

2020年7月、産業革新投資機構に入社。それ以前は、ニッセイアセットマネジメントにて、プライベート・エクイティ投資の共同ヘッドとして、欧州中小型バイアウト、GPマイノリティー出資、セカンダリー、国内VC投資を主に担当。また、野村アセットマネジメント及び系列子会社に9年間在籍し、投資委員会メンバーとして、グローバルの投資案件の評価・意思決定に携わると共に、アジアのチームヘッドとしてアジアフォーカスのFoFsの運用に従事した。

証券アナリスト協会検定会員。

慶応義塾大学環境情報学部卒、HEC経営大学院（フランス）にてMBA取得。



渡邊 迅人氏

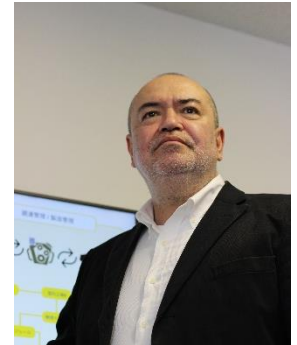
(浜松いわた信用金庫 ソリューション支援部 新産業創造室 副調査役)

静岡県浜松市出身。7年間の支店営業活動後、国際業務課で中小企業の海外進出支援のトレーナーとして香港に3か月駐在、海外進出支援営業として、浜松地域からASEAN地域へ進出する中小企業の進出支援を6年担当。2016年に経済産業省の始動プログラムに参加。2017年7月から2019年7月まで約2年間スタンフォード大学アジア太平洋研究センターに客員研究員として駐在。起業家や挑戦する人を支援するインキュベーション拠点設立の構想を始動プログラム参加時から企画し、役員へのプレゼンを駐在時代から始め、2020年6月にはFUSEという信用金庫として初めての試みとなる拠点をオープン。現在はFUSEのスタッフとして、信用金庫の新しい顧客との接し方を開発。

Martin Roberts氏

(株式会社LOZI CEO)

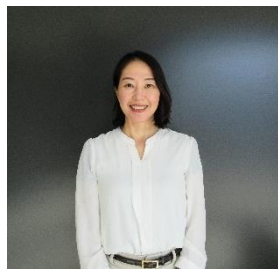
大学卒業後、広告代理店に入社。29歳で最初の起業を行い、当時社会現象となっていたi-Modeをターゲットとしたモバイルコンテンツの開発に従事。2015年よりメディア企業との協業で若年女性を対象とした越境EC事業を立ち上げ、国際物流が抱える課題解決に取り組む。2018年11月にモノの動きを可視化する「トラック&トレース」を事業ドメインに株式会社LOZIを設立。2020年、Plug and Play Fall EXPOモビリティ部門国内最優秀スタートアップ、2021年3月に佐川急便第一期アクセラレータプログラム「HIKYAKU LABO」最優秀賞。J-Startup Central、内閣府の世界に伍するスタートアップエコシステム拠点アクセラレータプログラムに選定。



小西 由樹子

(名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 スタートアップ推進室副室長)

大阪大学経済学士。早稲田大学MBA。第一勧業銀行（現みずほ銀行）総合研究所、日本経済研究センター研修生、早稲田大学商学学術院ビジネス・ファイナンス研究センター助手を経て、2019年より名古屋大学に勤務。カリフォルニア大学リバーサイド校（MBA）、ハワイ大学マノア校（MBA）、コルヴィヌス・フタペスト大学（訪問研究員）に留学。東海発アントレプレナー教育、起業家支援プログラムである「Tongali（とんがり）」を担当。



小田 一郎

(名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 スタートアップ推進室主任URA)

1995年4月名古屋銀行入行。名古屋市内の営業店に5か店勤務後、地方創生、マネロン、融資審査等を経験。2021年6月、名古屋大学スタートアップ推進室の発足に合わせて、名古屋大学へ出向。起業を目指す教員や学生の支援に携わる。名古屋大学経済学部卒業。



鷺見 敏雄

(名古屋市 経済局 イノベーション推進部 スタートアップ支援室長)

名古屋市入庁後、経済局において産業振興に取り組む。ロボカップ2017名古屋世界大会を機に社会実証などロボット・AI関連施策を推進。中部経済連合会との連携による「NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE」や「なごのキャンパス」の開設に関わる。現在、スタートアップ支援室の初代室長として、国に選定されたスタートアップエコシステム「グローバル拠点都市」の事務局を担う。



齋藤 通雄

(財務省 東海財務局長)

1987年大蔵省（現財務省）入省。財務省理財局及び金融庁において、金融資本市場に関する豊富な経験を持つ。2016年6月より（株）産業革新機構に取締役CFOとして出向、2018年の組織改正に伴い（株）産業革新投資機構取締役CFOとなり、5年にわたりベンチャー投資・プライベートエクイティ投資のミドル・バックを統括。2021年7月より現職。東京大学法学部卒業。

